

2017年度第2四半期
決算補足資料

2017年11月10日

DOWAホールディングス株式会社

損益の状況

■ 連結損益計算書

単位：億円

	2016年度 上期実績	2017年度上期		前年同期比増減	
		5/9予想(参考)	実績		
売上高	1,847	2,080	2,193	345	19%
営業利益	133	150	146	13	10%
経常利益	135	160	172	36	27%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	98	115	117	18	19%

- ✓ 2017年度上期は、経常利益で前年同期比+27%の増益決算となった。
- ✓ 非鉄金属価格の上昇や円安により、製錬部門を中心に増益となった。

為替、金属価格

	2016年度実績			2017年度実績		
	1Q平均	2Q平均	上期平均	1Q平均	2Q平均	上期平均
為替：(円/\$)	108.1	102.4	105.3	111.1	111.0	111.1
銅：(\$/t)	4,730	4,774	4,752	5,663	6,347	6,005
亜鉛：(\$/t)	1,915	2,253	2,084	2,598	2,962	2,780
インジウム：(\$/kg)	237	206	222	186	182	184

事業環境（上期）

➤ 廃棄物関連

国内の廃棄物発生量は横ばい、東南アジアは廃棄物処理が堅調

➤ 自動車関連

国内：自動車生産台数は前年比で増加

海外：中国や東南アジアなどの自動車生産台数は堅調に推移

➤ 新エネルギー・電子部品関連

新エネルギー：世界的な市場拡大が継続

電子部品：東アジアを中心にスマートフォン向け需要が伸長

➤ 金属価格・為替相場

金属価格：銅や亜鉛を始め総じて上昇

為替相場：大きな変動なく、概ね110円/ドル前後で推移

主要製品の動向

※2016年度1Qを100として指数化

		2016年度				2017年度	
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
環境・リサイクル	国内廃棄物中間処理量	100	104	109	102	106	96
	リサイクル原料集荷量 (小坂)	100	108	111	91	96	92
	東南アジア廃棄物処理額	100	103	111	129	120	112
製 錬	銅生産量 (小坂・小名浜)	100	86	83	89	85	70
	亜鉛生産量 (秋田)	100	72	91	99	92	73
電子材料	LED販売量	100	88	82	86	79	85
	銀粉販売量	100	101	97	95	89	105
金属加工	伸銅品販売量	100	104	106	104	105	101
熱 処 理	熱処理加工売上高	100	103	118	116	112	118
	工業炉売上高	100	116	109	183	104	148

セグメント別の損益（上期）前年比

単位：億円

	2016年度上期			2017年度上期			比較増減			営業利益の主な増減内容
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	
環境・リサイクル	454	26	24	482	26	29	28	△ 0	4	・東南アジアの廃棄物処理堅調 ・低濃度PCBは底ばい
製錬	945	32	39	1,023	43	65	78	11	26	・PGM増益 ・亜鉛価格の上昇、円安による増益
電子材料	270	28	28	410	30	33	140	1	4	・スマートフォン向けLED増販 ・円安による増益
金属加工	350	32	32	422	32	33	71	0	1	・伸銅品は自動車向け、スマートフォン向けともに堅調 ・減価償却費が増加
熱処理	115	8	7	129	10	9	14	1	2	・自動車向け熱処理加工需要は堅調 ・熱処理設備を海外で拡販
その他、 全社・消去	△ 288	5	4	△ 276	4	0	12	△ 0	△ 3	
計	1,847	133	135	2,193	146	172	345	13	36	

経常利益の要因別分析

単位：億円

2017年度上期 - 2016年度上期	環境・ リサイクル	製錬	電子材料	金属加工	熱処理	その他	合計
施策効果・販売増減など	△ 1	16	0	2	2	△ 1	18
うち実収差量（数量差）	-	10	-	-	-	-	10
実収差量（金属価格単価差）	-	8	-	-	-	-	8
外貨建収入為替差	-	9	2	-	-	-	11
原料条件（条件差）	-	△ 1	-	-	-	-	△ 1
払出時価簿価差・期末時価評価差	-	△ 10	-	-	-	-	△ 10
電力代ほか	-	△ 2	-	-	-	-	△ 2
減価償却費（製造原価）	1	△ 7	△ 1	△ 2	△ 1	△ 0	△ 9
営業利益増減	△ 0	11	1	0	1	△ 0	13
営業外収支の影響							
・持分法損益	△ 1	11	0	0	0	△ 2	7
・その他	7	4	3	1	1	△ 0	15
経常利益増減	4	26	4	1	2	△ 3	36

財務の状況 ①

■ 連結貸借対照表

単位：億円

	2017年 3月末	2017年 9月末	比較増減		2017年 3月末	2017年 9月末	比較増減
流動資産	1,948	2,165	217	流動負債	1,211	1,438	227
				固定負債	556	541	△ 15
固定資産	2,097	2,155	57	非支配株主持分	85	87	2
				自己資本	2,193	2,253	60
総資産	4,046	4,320	274	負債・純資産計	4,046	4,320	274
				有利子負債	798	946	147
				自己資本比率 (%)	54.2	52.2	△ 2.0

- ✓ 金属価格上昇にともなう製錬原料在庫の増加などにより、総資産は前期末比で増加し4,320億円となった。
- ✓ 原料在庫の増加に伴う支払いなどにより、有利子負債は946億円に増加。

財務の状況 ②

■ 連結キャッシュフロー

単位：億円

	2016年度 上期	2017年度 上期	比較増減
営業キャッシュフロー	107	4	△ 103
税金等調整前当期純利益	135	170	35
減価償却費	73	83	10
法人税等	△ 26	△ 76	△ 50
棚卸資産	△ 56	△ 215	△ 159
その他	△ 18	42	60
投資キャッシュフロー	△ 118	△ 122	△ 3
設備投資	△ 107	△ 108	△ 1
その他投資	△ 11	△ 13	△ 2
財務キャッシュフロー	△ 12	91	104
キャッシュフロー計	△ 24	△ 26	△ 2

2017年度 連結業績の見通し

単位：億円

	2016年度 実績	2017年度 業績予想	比較増減
売上高	4,105	4,340	234
営業利益	339	340	-
経常利益	365	365	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	261	260	△ 1

- ✓ 今後の事業見通しは、当初予想に沿って順調に推移する見込みであるが、現時点では通期の業績予想は据え置きとした。

セグメント別の損益（通期）前年比

単位：億円

	2016年度 実績			2017年度 業績予想			比較増減		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
環境・ リサイクル	969	66	68	990	70	70	20	3	1
製錬	2,077	100	122	2,140	96	118	62	△ 4	△ 4
電子材料	625	65	68	660	60	65	34	△ 5	△ 3
金属加工	754	69	71	840	71	72	85	1	0
熱処理	251	23	22	300	29	28	48	5	5
その他、 全社・消去	△ 574	13	11	△ 590	14	12	△ 15	0	0
計	4,105	339	365	4,340	340	365	234	0	0

前提条件・感応度（2017年度下期）

感応度（営業利益／下期）

単位：億円

	前提条件	変動幅	感応度
為替	115.0 円/\$	±1円/\$	2.1
銅	5,500 \$/t	±100 \$/t	0.3
亜鉛	2,700 \$/t	±100 \$/t	2.5
インジウム	190 \$/kg	±100 \$/kg	3.0

※為替感応度の内訳は、製錬1.7億円、電子材料0.4億円です。

為替、金属価格

	2016年度			2017年度			(参考) 直近
	上期	下期	通期	上期	下期前提	通期見込	10月平均
為替：(円/\$)	105.3	111.5	108.4	111.1	115.0	113.0	113.0
銅：(\$/t)	4,752	5,557	5,154	6,005	5,500	5,752	6,797
亜鉛：(\$/t)	2,084	2,650	2,367	2,780	2,700	2,740	3,274
インジウム：(\$/kg)	222	192	207	184	190	187	206

感応度については、現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の影響額は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

投資の状況

単位：億円

	2015年度 実績			2016年度 実績			2017年度上期 実績			2017年度 見込		
	設備投資	研究開発投資	合計	設備投資	研究開発投資	合計	設備投資	研究開発投資	合計	設備投資	研究開発投資	合計
環境・リサイクル	91	3	94	57	3	60	33	1	35	70	4	74
製錬	52	45	97	82	20	103	25	3	28	49	9	58
電子材料	38	29	68	37	32	70	29	17	46	40	34	74
金属加工	28	5	34	40	5	45	17	2	19	55	5	60
熱処理	30	4	35	53	4	57	24	1	25	50	3	53
全社、その他	7	△ 1	5	24	0	23	2	0	2	15	0	15
合計	249	86	336	294	66	361	131	25	157	279	58	337

(参考) 減価償却費

	2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度 上期実績	2017年度 見込
環境・リサイクル	47	45	20	47
製錬	29	38	22	46
電子材料	24	23	12	30
金属加工	20	20	10	27
熱処理	20	19	9	22
全社、その他	9	9	5	11
合計	151	157	81	186

2017年度上期の主な投資

環境・リサイクル：低濃度PCB廃棄物の事前解体能力の強化

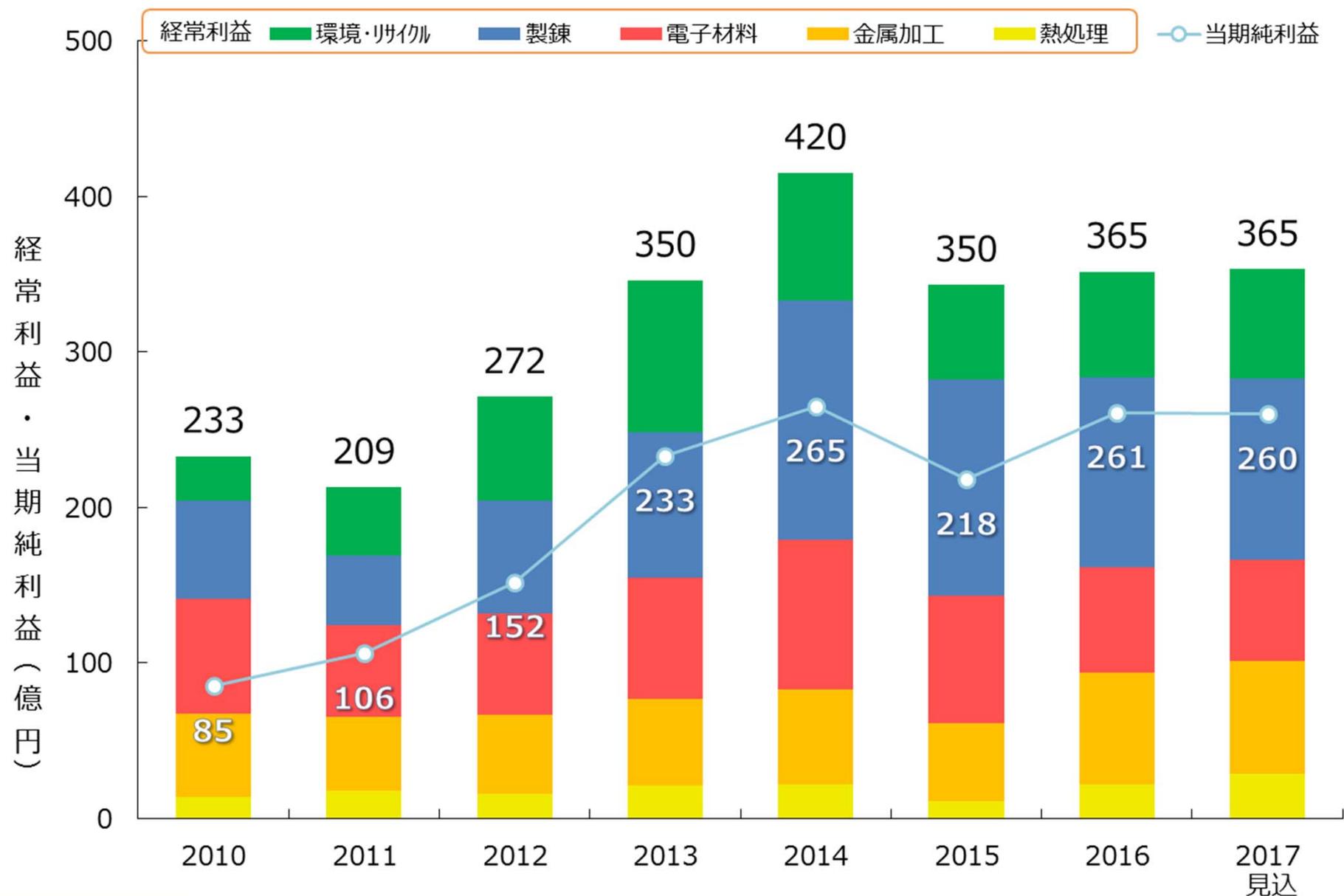
製錬：亜鉛製造設備の新設・更新

電子材料：製造設備の増強（銀粉、フェライト粉）

金属加工：回路基板製造設備の増強

熱処理：熱処理加工設備の増強

經常利益・当期純利益の推移



参考：セグメント別の損益（上期）予想比

単位：億円

	2017年度 上期予想（5/9公表）			2017年度上期実績			比較増減		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
環境・ リサイクル	470	29	28	482	26	29	12	△ 2	1
製 錬	1,020	39	52	1,023	43	65	3	4	13
電子材料	330	30	32	410	30	33	80	0	1
金属加工	410	34	34	422	32	33	12	△ 1	0
熱 処 理	140	12	12	129	10	9	△ 10	△ 1	△ 2
そ の 他 全 社 ・ 消 去	△ 290	6	2	△ 276	4	0	13	△ 1	△ 1
計	2,080	150	160	2,193	146	172	113	△ 3	12

DOWA

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。